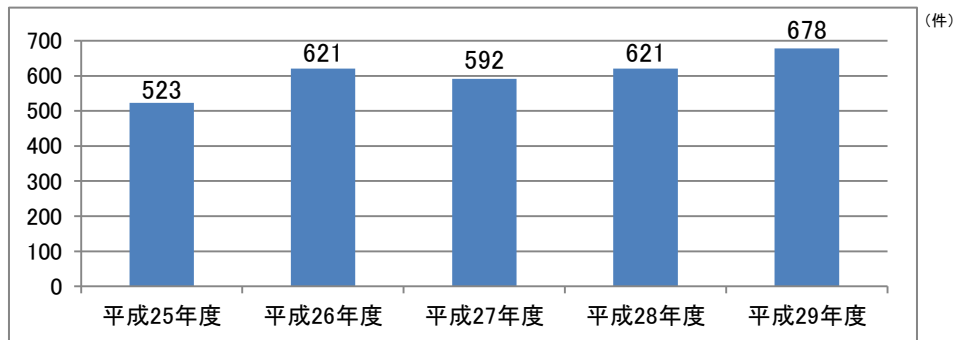


3 緊急時間外手術件数

○項目の解説

夕方以降から深夜、日曜日祝祭日など通常時間帯以外の手術に対応できる力を示す指標です。予定外の緊急時間外手術に常に備えるには、十分なベッド数や検査・画像診断機器などの設備、麻酔や執刀を行うスタッフが必要です。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

同規模の国立病院のなかでは、緊急時間外手術件数が678件と多く、地域の救急医療の担い手となっています。また学生や研究の教育に重要と考えられるcommon disease*を受け入れる体制も出来ています。関係病院から搬送時に患者情報を速やかに連携する情報システムも活用しており、緊急手術の際の情報伝達は非常にスムーズになっています。手術部に関係する他診療科および関連する中央部門との連携が良いことも特徴です。麻酔科、看護師、臨床工学技士、放射線技師など緊急時間外手術に対応する各職種の人員配置やオンコール体制が適切に行われています。

*common disease: 日常的に高頻度で遭遇する疾患、有病率の高い疾患のこと

○定義

緊急に行われた手術(医科診療報酬請求点数表区分番号K920、K923、K924(輸血関連)以外の手術)で、かつ時間外加算、深夜加算、休日加算を算定した手術件数です。

あらかじめ計画された時間外手術は除きます。複数術野の手術等、1手術で複数手術を行った場合でも、同一日の複数手術は合わせて1件とします。

○算式

実数